

派遣留学報告書（12月分）

金沢工業大学 情報工学科

畑山 真治

ここで、私が取ったアカデミックのクラスについて説明しておこうと思います。

まずはインターネットワーキング&ラボという科目。一週間で三回授業があり、内2回はパワーポイントやホワイトボードを使って担当教員が講義をする形式、残り1回がコンピュータが設置され、ローカルエリアネットワークが構築されている教室で各種の実験を行うラボです。これまで、LANケーブルを制作することから始まり、いろいろな方法で実験室のネットワークへの接続、ネットワーク上を流れるパケットのキャプチャやフィルタリングをしました。毎週しなければならない範囲が決められていて、実験が成功するたび教員に見せサインをしてもらいます。そのサインシートのコピーとその週の実験に関連する課題、次週の実験に関連する課題を次週のラボの授業開始時に提出します。講義の内容と比べてラボでやる実験は簡単なのですが、授業後に取り組みなければならない課題が講義の内容に関連するところまで絡めた質問になっており、むずかしいです。

次にプリンシパルエコノミクスという科目です。経済学の基礎を学ぶためのクラスです。需要と供給から始まります。基礎のクラスとは言え、専門外な上に高校の頃に需要と供給を習ったときは専門用語はすべて日本語（漢字熟語）に訳されていたわけで、使われる専門用語の多さにとまどいました。それととにかく進度が速いと感じます。私はこのほかにELCのクラスを20時間（1週間）取ることになっていますが、一般的な生徒が取る科目数はもっと少ないようなので、一科目当たりの予習・復習に費やすことを期待される時間数が多いのでしょうか。どちらのクラスでも日本と違ってたいい学生が自主的に教員の質問に（挙手なしで）答えるのが印象的でした。

計28時間。さすがに前学期より格段に大変になりました。今更になって一科目でも良かったのではないかと、思うこともあります。種類の違う科目を経験してみることで得られることもあると思うので、とにかくがんばってやってみようと思います。

この月は、19日からRITが年末年始の休暇に入ります。それに伴い1月2日まで寮を使うことが出来ません。代わりにRITINNというRIT経営のホテルに滞在しました。この間、私はまたニューヨークシティに行ってきました。実は前回サンクスギビング休暇でニューヨークに行った際、パスポートを無くしてしまったのです。領事館に連絡し、再発行に必要な書類もそろっていましたが、日本の場合パスポートの郵送は出来ないそうで、ニューヨークシティに直接行く必要がありました。パスポートだけではなくすなと言われますが、パスポート以外に身分を証明する物が無い場合は本当に困ると思います。まず、飛行機に乗れません。長距離バスにも乗れません。バスについてはパスポートのコピーと、説明で何とかなるのかもしれませんが・・・

私の場合は国際運転免許証を持っていたので助かりました。国際免許証の発行は国内の免許を持っていれば簡単に発行してもらえる上、アメリカ国内で身分証明に結構使えますから次に交

換留学でこちらに来る方は持ってくると良いと思います。備えあれば憂いなしです。

新年はトルコ人の友達と3人でロチェスターのダウンタウンで迎えました。たくさんの方がいて、2005年になった瞬間には歓声が上がりました。